

平成21年度一般会計補正予算説明資料

- 10款 教育費
 1項 教育総務費
 2目 事務局費
 4目 教育連絡調整費

教育総務課 (内線：7670)
 小中学校課 (内線：7512)

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「勉強がんばろうキャンペーン」推進事業	0	20,504	20,504	20,504				
トータルコスト	0	21,333	21,333	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	フォーラムや研修会の開催準備、市町村への交付金事務				

事業内容の説明 【国1次補正「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」充当事業】

1 事業の概要

本県教育の課題解決に効果が期待される「陰山メソッド」(望ましい生活習慣の定着と徹底反復練習で子どもたちの学力を伸ばす)の教育関係者、保護者、県民への紹介、市町村や学校での実践支援、本県独自の教材開発への活用(指導助言)を通じて、児童・生徒のさらなる学力向上、基本的な生活習慣の定着を図る。

(1) とっとり学力向上フォーラム2009(仮称)

～ 陰山メソッドをヒントに学力向上の道筋を探る ～

1日 時	平成21年10月頃 13:30～16:00
2場 所	(未定)
3参 加 者	保護者、市町村教育委員会、各学校教職員、一般県民 500名程度
4プログラム	(1)基調報告(30分間) ①全国学力・学習状況調査の結果 ②高校入試の結果 (2)基調講演(60分間) *演題「基本的な生活習慣の定着と学力向上」(仮称) *講師 立命館大学 教育開発推進機構 教授 陰山英男氏 (3)パネルディスカッション(60分間) ①テーマ「学力向上に向けた本県教育の課題解決」 [課題] 学力の二極化傾向、学習意欲の低下、家庭学習の習慣の未定着 や時間不足、大学進学等に必要な学力の不足 ②コーディネーター…県教育長(想定) ③パネリスト：5名 …陰山英男氏、市町村教委代表(教員含む)、県小・中学校校長会代表

(2) 陰山氏による県の学力向上対策事業等【既存事業】への参画

①鳥取県市町村教育委員研修会での講演

[日時] 平成21年7月または8月の1日間 14:00～17:15

[場所] 倉吉未来中心 セミナールーム3

- ・演 題 「学力は1年で伸びる」(仮称)
- ・講 師 立命館大学 教育開発推進機構 教授 陰山英男氏
- ・参加者 市町村教育委員 100名程度

②本県独自教材開発「みんなでチャレンジ教材開発事業」(21年度当初予算)への指導助言

(3)「勉強がんばろうキャンペーン」推進交付金

学習習慣や生活習慣の定着を図るモデル的な取組(例：「陰山メソッド」として提唱されているモジュール学習、反復学習など)を展開する市町村を支援

[総 額] 20,000千円(2,000千円×10件程度)

[交付率] 10/10

[交付要件]

- ・基本的な生活習慣や学習習慣、基礎基本の定着等を図るため、モジュール学習や反復学習などを効果的に取り入れ、「授業への集中」や「家庭学習の習慣化」に向けた取組の実施

2 事業費

区 分	経費(千円)
とっとり学力向上フォーラム2009(仮称)【新規】	
講師報酬・旅費、ポスター・チラシ作成、会場使用料 等	375
鳥取県市町村教育委員研修会での講演【既存】	
講師報酬・旅費	129
「勉強がんばろうキャンペーン」推進交付金【新規】	
市町村への交付金	20,000
計	20,504